

平成 30 年度 第 3 回

丹波市地域公共交通活性化協議会
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覽用

1 開催日時 平成 31 年 3 月 11 日 (月) 午後 1 時 30 分 開会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者

(委員)

北川博巳	会長	大野亮祐	副会長
本間和典	委員	中澤秀明	委員
足立安夫	委員	中辻剛	委員
中川武	委員 [代理]	吉本道明	委員 [代理]
石田光	委員	藤浦俊行	委員
瀬川雅史	委員	永井正伸	委員
山田吉晴	委員	長田貴	委員
太田嘉宏	委員		

委員 15 名出席

(オブザーバー) 正垣 あおい

(デマンド(予約)型乗合タクシー運営者) 藤本 泰 男

4 欠席者 畠 宏一郎 委員 畑 幸一 委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

- (1) デマンド交通の状況分析について
- (2) 路線バス利用増進の取り組みについて
- (3) 「てくてくたんば」平成31年3月発行について
- (4) バス路線の再編について
- (5) その他

4) 閉 会

(事務局長)

只今から平成30年度第3回の丹波市地域公共交通活性化協議会（丹波市地域公共交通会議）を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きまして有難うございます。

本日は、丹波市身体障害者福祉協議会 会長の塩谷泰久様の代理として、副会長の中川武様に、神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門 首席運輸企画専門官の岩野住之様の代理として、神戸運輸監理部総務企画部企画調整官の吉本道明様にご出席頂いております。

また、柏原神姫タクシー（株） 会長 畠宏一郎様、丹波市建設部道路整備課長につきましては、事前に欠席の連絡を受けております。

それでは、以降の進行につきましては会長にお渡しを致します。どうぞよろしくお願い致します。

(会長)

皆さんこんにちは。本日もよろしくお願い致します。

今日は皆さんへの情報提供として「日々使えるやさしい交通機関を目指して」という資料を用意してきました。丹波市のデマンドの利用者は80歳以上の方の割合が高く、最近では認知症と思われる方の利用もあると聞きます。国としても、福祉と交通がうまく連携する施策を考える時代になりそうです。丹波市においても、今回の交通会議には介護保険課と障がい福祉課が出席されていて、やはり高齢化の中で認知症というテーマがあるということだと思います。県でも、ヘルプカードという、援助や配慮を必要としている方々が、周囲に配慮を必要としていることを知らせて援助が得やすくするカードを交付しています。私が接遇や介護の研修に関わる中でも、福祉と交通に関する話題は度々出ています。高齢化が進むと認知症の問題は避けられないことですので、この資料を御熟読頂いて、交通において何か出来る事を考えて頂ければ有難いと思います。

本日の交通会議は、いつもの報告に加えて、新病院の開院によるバス路線の再編についての協議があります。この会議で協議をして合意形成がなされれば、路線認可申請の手続きに進めるということですので、今日はこの件に時間がかかるとは思いますがよろしくお願い致します。

それでは、会議次第には報告事項が3点ありますので、まずは1番目のデマンド交通の状況分析について説明をお願いします。

[デマンド交通の状況分析について説明 資料：別紙1～別紙3]

(会長)

有難うございました。登録状況を見ると死亡数が多いですが、お亡くなりになる直前まで利用されていることから、健康寿命の延伸に貢献しているのではないかと思います。今まで多くご利用頂いた方々がお亡くなりになったということですので、新規登録者の確保を含め、より多くの方に多数ご利用頂けるような取り組みができればと思います。人

口減少の危惧がありますが、地域の中では、送迎の交通手段が増えてきているという話もあるようですので、そういう様々な状況を見ながら考えていければと思います。

デマンド交通の状況について、確認事項や質問等があればお願い致します。

この件についてはよろしいですね。

それでは次の議事に進みたいと思います。2番目の路線バス利用増進の取り組みについて説明をお願いします。

[路線バス利用増進の取り組みについて説明]

(会長)

有難うございました。神姫グリーンバスには、いつも車内装飾のご協力を頂いていること、4月1日に石生駅の接続に合わせたダイヤ改正をして頂き有難うございます。今後もよろしく願います。

路線バスの利用増進について何かありますか。

この件についてはよろしいですね。

それでは、3番目の「てくてくたんば」平成31年3月発行について説明をお願いします。

[「てくてくたんば」平成31年3月発行について説明]

(会長)

有難うございました。次は7月のバス路線再編に伴い7月発行として全戸配布を計画しているので、3月発行についてはJRのダイヤ改正に合わせた簡易版になると思います。

「てくてくたんば」平成31年3月発行について何かありますか。

この件についてはよろしいですね。

それでは、次の議事に進みたいと思います。今日はバス路線の再編についての協議事項がありますので、その内容を説明して頂いて理解を深めながら進めていき、最終的には丹波市地域公共交通活性化協議会として合意を得たいと思いますのでよろしく願います。それでは、バス路線の再編について説明をお願いします。

[バス路線の再編について説明]

(会長)

有難うございました。今の話を整理しますと、今回のバス路線の再編に際しての書面手続きで、本会議の協議が調っていることの証明書が必要となりますが、今回は1路線のみの再

編の場合とは異なり、路線の新設、延伸、廃止とかなり多くの協議事項があり、さらに運賃についての協議も調えるとなると結構大変ですので、まずは路線そのものの協議をお願いしたいというのが事務局の案です。そして神姫グリーンバスからも、運賃とバス停については事務的にまだ調べていない部分があるので、後日書面による協議をお願いしたいという話があります。そのような進め方で良いかということも含めて再編について考えて頂ければと思います。

具体的には、事前にお配り頂いた資料3の公共交通MAPを見ながら、資料2の路線バス運行ルート及びダイヤ案の表を見て考えれば大分イメージが湧くのではないかと思います。内容的にはかなり頑張っている案ではないかと思います。特に今回は新病院ができるので、柏原駅と新病院の間、山南地区と新病院の間の路線の新設、現行ルートの一部延伸、そして柏原病院が無くなるので、柏原駅と柏原病院の間の路線の廃止というルート案です。それから、ダイヤ案によると便数が相当増えるようです。この再編案を見ながらご協議頂きますが、特にまちづくりの観点から見ると、新病院の開院により柏原駅と石生駅のルートはかなり強化されると思いますし、山南からのアクセスも新病院方面、柏原駅までなので、交通ネットワークとしてはかなり良い物が出来ると思います。そしてデマンドをうまく活用すれば安く早く行けるというような点をかなり考えて頂いている案ではないかと思います。

今日は皆さんの色々な観点からご意見を頂きながら協議を進めたいと思いますが、まずは路線バスの事業者である神姫グリーンバスから、これまでの話で追加の説明や訂正等があればお願いします。

(委員)

神姫グリーンバスです。新病院が出来るということで、まずは各地から新病院へ乗り入れる路線の再編の検討を始めました。今回の大きな改正点は、佐治方面、野瀬方面は一部延伸をして新病院につなげて行く、駅との接続を充実させる、山南地域から氷上地域を通り新病院へ乗り入れる路線を新設するということです。当社としては、今回の増便延伸等により2系統増という事業拡大になっており、これを機に是非とも多くの方に利用して頂きたいと思っております。

また、山南地域と新病院間の新路線については、地元の方々とお会いしていろいろとお話をさせて頂き、山南地域から大型商業施設へのアクセスを可能にする等、地元の方々の要望やご意見を踏まえて検討をさせて頂きました。その繋がりを活かして今後も使い方のご案内をするなどして、より多くの方に使って頂ければと思っております。

それから、バス停については大体の場所は決めておりますが、あとは地権者の方や警察、土木事務所等との調整をしている状況ですので、引き続き7月1日の運行に向けて準備を進めて行きたいと思っております。

(会長)

有難うございました。路線の再編に向けていろいろと動いて頂いている印象ですが、ここまでで何かご質問やご意見があればお願いします。

(委員)

資料の時刻表についての確認ですが、停留所名が新病院と書いてあるものと医療センターと書いてあるものがありますが別のものですか。

(事務局)

A3の1枚物の時刻表については、当初に作ったもので新病院という書き方をしています。後に作った路線別のA4の時刻表については、作成時点で名称が医療センターになるだろうということで、その名称を使用しております。今現在の正しい物としてはA4の時刻表を見て頂けたらと考えます。

また、時刻表の青色で書いてあるバス停は名称を変更する所で、例えば、本町や新町等は他の地域にも同じ地名がありますので、柏原本町、柏原新町という様な形で名称変更を考えて頂いております。

(会長)

有難うございました。他に何かありますか。

(委員)

バス協会です。資料の路線バス経路図(案)についてですが、青色表記の所は新設路線で、現在は全くバスが走っていない所なんですよ。北和田から、応地、小野と北上して行って上成松まで、これだけ多くの停留所が新設されるということですよね。

(事務局)

青色表記の新設路線は現在はバスが走っていない所で、青色で□囲みをしている所は新しく設置するバス停です。

(委員)

この道は国道ですか。県道ですか。

(事務局)

一部は丹波市の市道ですが、ほとんどが県道です。

(委員)

道路の幅員は十分ありますか。

(事務局)

片側1車線の道路ですが、過去にバスが走っていたルートであると聞いております。

(委員)

これから道路管理者の県や公安等関係先の検証を経て、停留所の設置許可を頂く予定です。

(事務局)

まずは地元のご了解を得てという形になりますので、道路管理者、公安等につきましてはその後の話になります。来週以降に、現場での最終の位置確認をそれぞれの自治会さんにお世話になりたいと考えております。

(委員)

分かりました。

(会長)

該当の道路が要件を満たしているのか。例えば一部で交差点の処理を変えなければいけないとか、そういう可能性はありますか。

(事務局)

現時点で道路の改良が必要な所があるとは考えておりませんが、例えば、昔にバス停があった場所に侵入防止のポールが立っている所があるので、その撤去が必要になるかと思えます。過去にバスが走っていた道路ですので、その辺りを含めて地元の意見を聞きたいと考えております。

(会長)

有難うございました。今後そのような流れで進めて頂くようお願いします。

他に何かありますか。よろしいですかね。

では、路線案について1点ずつ確認したいと思います。まずは柏原駅～柏原病院区間の廃止について何かご意見等ありますか。実際に柏原病院が無くなりますから、これについては概ね了解ということでよろしいですか。

(委員)

廃止に異論はないのですが、日赤と柏原病院が医療センターとして新たな場所へ移って路線も増えるという形は発展的なことだと思う一方で、廃止になる地域の観点からすると、今までは日赤と柏原病院にあった人の流れが止まってしまうという状況が必然的に考えられる訳です。ここで議論することではないのかもしれませんが、丹波市における地域公共交通の基本的な考え方にあるように「安心して暮らせるまちづくり」という広い意味においては、路線を考えるだけでなく、例えば柏原病院の跡地をどのように活用していくのか、地域の活性化という観点からその辺りを具体的に考える必要もあるのではないかと思います。現在、跡地の活用について、何か計画があるのかが分かればお聞きしたいです。

(事務局)

柏原病院は県立の施設なので、跡地活用については県の方で考えて頂いておりますが、市に対しても何か跡地として有効に活用する意思がないかという照会は頂いております。また、新聞報道でもありましたが、2月25日から県が柏原病院の跡地活用案を募集されてお

りますので、そのような動きはあるという状況です。

(会長)

跡地活用を考える話がある中で路線を廃止していいのかという考えもあると思いますが、地元の方はデマンドを利用することもできるだろうし、今後の跡地活用の状況によっては路線の復活もあるかもしれませんが、今のところまだよく分からない話なので判断が難しい所です。例えば廃止ではなくて休止という案もあった中で、今回は何故廃止という案になったのかをお聞きしたいです。

(事務局)

柏原病院の施設が無くなるということ、現状、通院される方にあまり乗って頂いていないこと、便数も少ないこと等から、施設の閉鎖に合わせて廃止という形を取らせて頂きたいということです。また将来的に皆さんが集うような施設がもし出来る様であれば、路線については再開の協議をさせて頂きたいと考えております。

(会長)

有難うございました。復活も有り得る廃止だということのを頭の片隅に入れておいて頂ければと思います。ネガティブな話ではなく、今後、地域の活性化を含めてどう復活させていくかということも考えないといけない話ですので、この協議会としても何かありましたらいつでも対応したいと思います。

この件について何かご意見等ありますか。

ご意見がないようですので、本会としては協議が調ったということでよろしいですね。

次は既存の路線を延伸する案についてですが、青垣（佐治）～柏原駅、野瀬～黒井駅～柏原駅の路線の一部延伸による新病院への乗り入れと増便という再編案ですが、この件について何かご意見等ありますか。

新病院の近くに買い物ができる施設がありますが、あの辺りにバス停を新設する考えはありますか。

(事務局)

現段階では、既存のルートของバス停は従来通りです。新病院の向かいにある商業施設については立地上バスが入って行くことは難しいかなと思います。コープ、ゆめタウンについては、今あるバス停を使って頂く形です。今後どのように開発等が進んでいくかということも含めながら、路線について考えて行けたらと思っております。

(会長)

有難うございました。この件については、便数も増え、かなりメリットがあるようなので、今後、石生駅、柏原駅の活性化策も含めて、まちづくりの展開があるのではないかと思います。

他に何かありますか。

(委員)

新設の路線にバス停を作る時に、例えばバス停からバス停までの距離というような基準等がありますか。ある場合は、どういう視点、考え方で設定されているのかを確認したいです。

(委員)

バス停の候補地が民地である場合は、所有者と交渉をして許可を得て置いています。民地なので所有者以外の許可は得ていません。そして公道、歩道に置く場合は、警察及び土木事務所と調整をして、安全上問題がなければ設置出来るという形です。

(委員)

そのような許可をもらう前の段階で、この場所にバス停を設置するという決定はどのように判断されていますか。

(委員)

バス停の位置については、民家の戸数や、地元自治会の要望等により、利便性を考慮した位置に決めております。既存の路線でも、追加のバス停を作ってほしいという要望を頂くこともあります。

(委員)

今回の再編案は、そのような地元の要望等を反映した案ということでしょうか。

(委員)

そうです。

(会長)

今回はかなり地域の方とやり取りをされたと聞きましたので、そういう経緯だと思います。新病院が出来るといふかなりインパクトがある話ですから、この延伸についても良い案だと思います。

この件について何かご意見等ありますか。

ご意見がないようですので、本会としては協議が調ったということによろしいですね。

では次に、今回の再編の要の部分の新設の2路線について、まずは柏原駅から新しい医療センターに行く路線について何かご意見等ありますか。

ご意見がないようですので、本会としては協議が調ったということによろしいですね。

次に、谷川駅から医療センターを経由して柏原駅まで行く路線ですが、これは以前にあった路線を復活させるような形です。やはり廃止になったのには、利用者の減少等のいろいろな理由があったということなので、今回は新病院が出来るとはいえ、その辺りの心配もあるのではないかと思います。これについて何かご意見等ありますか。

では質問ですが、今のところ1日何人位の利用を想定していますか。

(事務局)

路線毎ではないですが全体目標は出して頂いております。現状としては、昨年度の第1回交通会議で報告した29年の市内の路線バス乗車数が73,000人でした。30年の乗車数については現在集計中ということなので、まだ事務局に報告はされておられません。路線バスの利用増進施策としては、新たにバスに乗って頂く機会を設ける施策や、学生の定期の利用者が増えるように通学定期の補助施策等も考えておりますので、路線毎の目標というよりも全体の目標として、今の73,000人から出来れば10万人を超えるように目指したいという思いで、今回の再編や新たな利用増進の施策を考えております。

(会長)

バス構想をネットワークで見て下さいということですね。全体としての目標が一つあって、それに応じて、通学定期の補助等も込みでの今回の再編ということでやっています。その辺りも含めて今回の再編案を協議して頂ければと思います。何かご意見等ありますか。

(委員)

谷川駅～医療センター～柏原駅の新しい路線を地図で見ると、丹波市役所が少し離れた所にあるようですが、この新路線を丹波市役所まで伸ばしてほしいというような話がありますか。

(事務局)

乗換えせず直接にということだと、この路線のダイヤ案にあるように、谷川駅7時半発の始発に関しては、市役所を経由するルートを通っております。朝一番はコープ、ゆめタウンもまだ開店していないので、市役所の方を回るルートになっています。また、市役所方面から山南方面に帰る場合は、柏原駅17時45分発の最終便については、コープ、ゆめタウンの商業施設を経由してから市役所も経由して終点谷川駅へ行く路線となっております。この2便以外は市役所を経由しないので、例えば、石生駅まで出て、石生駅から青垣へ行く路線等を使って市役所へ行くという形になるかと思えます。この路線については、谷川方面からですと、朝一番の便で市役所の方に行き、夕方の最終便で市役所の方から帰って来るといった考え方になります。

(会長)

丹波市の場合は、各支所での手続きが多いと思うので、本庁へは朝夕の通勤みたいな便になってしまうのかなと思います。丹波市の将来像を議論しているなかで、統合庁舎の場所をどうするのかという大きな課題があり、そのことも含めた路線の議論が必要ですが、現時点ではまだ具体的な話ではないこともあり、今回はこのような再編案になったということを確認しておきながら、次の機会を捉えた方がいいのかなと思います。

交通会議で大事なものは、この場での様々な話しもそうですが、常に最新のデータをしっかり見ながら、状況を踏まえて対処していくための今後のモニターだと思えます。ですから、再編をしてこれで終わりというのではなくて、地域の中で、この路線を通してどのように活性化が出来るのかということも大事ですし、利用が落ちていたりとか良かったりとか、目

的が薄れているとか、その辺りも検証しながらやっていければ良いと思います。本来、路線を新設する場合は実験的にやる場合も多いですが、今回はエリアとして全体の再編ということですので、この様な形になっているのではないかと思います。

では、谷川駅～医療センター～柏原駅の新路線について他に何かありますか。

よろしいですか。反対も無いということですね。新病院というインパクトのある施設が出来て、そこに公共交通でアクセスが出来るようにという意味では、非常に良い案ではないかと思えます。

ご意見がないようですので、本会としては協議が調ったということによろしいですね。

それでは、今回の路線再編に係る路線の新設・延伸・廃止については、本会での協議が調ったことを確認しました。

次に、今回の路線再編に伴う運賃認可に係る事項については、後日書面協議とありますので、事務局から今後の流れを説明してください。

(事務局)

運賃の算定は、土地の所有者、道路管理者、地元の自治会等との協議によって最終的なバス停の位置が決定してから、バス停間の距離に応じて算定されます。今後、運賃の算定が出来た段階で、皆様に資料等をお示ししてご意見を頂戴できればと考えております。考え方としては、距離に応じて算定という形ですので、特別変わった料金ということではないですが、そのようなバス停間の距離に応じた料金で良いかという協議をお願いしたいと考えております。本来であれば協議会を開いて協議できれば良いのですが、次回の第1回目の会議については、デマンドの実績等の資料の作成や、協議会の決算等の関係で、6月後半から7月の開催を予定しており、4月か5月では運賃の協議には時期が合わないため、書面による協議をお願いしたいと考えております。

なお、要綱には、協議の方法については交通会議の中で協議するとありますので、書面協議という方法についての協議をお願いしたいと思います。

(会長)

書面協議の書類が送られてきて、採用か否決かという形になると思いますので、ご回答をよろしくお願い出来ればと思います。

それから、もし何かありましたら、軽微な事項の場合は、事務局と会長の方で調整させて頂きたいと思えます。

以上の2点について、ご了承頂ければと思いますが如何でしょうか。よろしいですね。

それでは、バス路線の再編に伴う運賃認可に係る事項については後日書面による協議とすること、及び軽微な事項については事務局と会長との調整事項とすることについては承認されました。

引き続き、7月1日のバスの再編に向けてよろしくお願い致します。

また、年度が替わりますので、決算、監査等で大変かと思えますが、その辺りも協力をしながらよろしくお願いしたいと思います。

それでは、5番目のその他について事務局からお願いします。

[その他について説明]

- ①新年度事業予算（予算要求案）について
- ②委員任期満了に伴う再任依頼について

（会長）

有難うございました。予算が確定するのは来年度の第1回目の会議ということですね。

（事務局）

そうです。新年度の事業案、予算案については、新年度の第1回目の会議で承認を頂くという形です。

（会長）

要するに、2ヶ月程は事業案、予算案の承認が後回しになるけれども、事業はしっかり継続してやって行くので、現時点での情報を承認して下さいというところですね。毎年それほど変わりはないと思いますが、何かご意見等ありますか。よろしいですね。

委員任期満了に伴う再任についても是非お願いしたいと思います。

最後に何かご意見等ありますか。

新しい路線を含む7月の再編に向けて、引き続きよろしく願いいたします。

それでは、最後に副会長にご挨拶を頂いて終わりたいと思います。

（副会長）

本日は、第3回目の地域公共交通活性化協議会に、大変お忙しい中、ご出席を頂き有難うございました。

先程、委員の任期満了の話がございましたが、組織によっては改選もあろうかと思います。私どもの自治会長会も1年1期で改選になる訳ですが、改選される団体におかれましては、出来るだけスムーズな引き継ぎで今後につなげて頂きたいと思います。

それでは、これで閉会とさせていただきます。有難うございました。